

最優秀賞

国際俳句・川柳カードで学ぶ！ 楽しい日本語 for Japanese learners

前田 栄人 (高校3年生：埼玉県)

概要：俳句・川柳は「Haiku・Senryu」、として世界で親しまれている。例えばアメリカの学生のほとんどは俳句を英訳した英語俳句を授業や著書で触れる。私は国際的な発展を遂げている俳句や川柳を使った新たな学習ゲームを提案したい。

ターゲット：“日本語を学びたい、学び始めの外国人”

政府の調査によると、2022年の日本の外国人留学生は約230万人である。外国人留学生に加え、私の住む埼玉県には多くの在日外国人いて現在も増加傾向であり、彼らは厳しい言語の壁に阻まれている。

ゲームのアイデア：

道具：俳句・川柳&単語カード 人数：2人以上
着想は英単語の暗記カードと百人一首である。百人一首のような文学と競技性のあるものを暗記カードのように昇華することで独特で愉快的ゲームになると考える。

「俳句・川柳カード」には作品に1～3つの単語の空白があるものが記されていて、裏には参加者の母国語で訳されたものがあり、空白部分の訳には対応する日本語が赤字で追記される。俳句・川柳カードに収容される作品は100年以上前で訳は翻訳家や大学教授のものを利用する。「単語カード」には空白に当てはまる日本語と

裏に対応する母国語が書かれている。

1回の流れ：

1. ゲームマスターを決める
2. マスターが俳句カードを1枚引く
3. マスターが俳句カードのブランクに当てはまる単語カード+複数枚の不正解カード=4～6枚の単語カードを用意
4. ゲームスタート
 - ・ディスカッションや交流をしながら答えを見つける
 - ・早押し形式で回答競争
 - ・授業形式で答えを発言 など

工夫点：

参加者の年齢や日本語の理解度などに合わせ、俳句・川柳の表現する風景のイラスト、ヒントを添付するバージョンを作り、適した難易度でゲームができるようにする

提案の有効性と展望：

俳句・川柳は短く、飽きずにプレイでき、参加者同士の交流なども図れる。さらに母国語の新しい表現を知ることができ母国語への理解が洗練される。

小学校教育などに利用されると英語の学習などにも使える可能性がある。